

令和6年度宗像市郷土文化学習交流館協議会議事録(要旨)

- *限られた人員、予算の中で多くのイベント等に取り組み、来館者数もコロナ禍前の水準まで戻っていることは率直に評価したい。
- *出光佐三特別展のように、むなかた人として伝えてほしい内容を充実してほしい。
- *難しい内容のものばかりではなく、地域の人や伝統行事について知ってもらえるような講座も企画してほしい。
- *大人向けの講座・イベントを増やし、それをきっかけにボランティアスタッフになってもらうような取組みも考えるべきではないか。
- *学校には市から多くのイベント案内が来る。
 - ◆小学校では、チラシだけだとなくなってしまうこともあるので、メールの併用などを検討してほしい。
 - ◆中学校では、宗像市立学校保護者等一斉連絡システム“すぐーる”導入で、ほぼペーパーレスとなり、学校でのポスター掲示とメールで対応できている。
- *ペーパーレスだけで行くと、参加者が激減した事例もあった。子どもと保護者が目にしやすいものはどのような方法が適切か、適宜考えながら実施してほしい。
- *地域学芸員でワーキングを立上げ、企画等しながら、夏の課外授業、いいいさんまつりなどイベント等を実施してきた。一方で、協力メンバーの広がりや欠けたり、アイデアのネタ切れ等の課題も起きている。
- * (世界遺産カードゲームに関連して) 子どもたちはカードが大好きで、歴史など興味をもたせるのに、バトルやイベントを組み合わせながら、カードを活用するのは有効と思う。他自治体の事例も参考にして、子どもが作成段階から関わり、販売までできるような取組みを検討してはどうか。
- *大島にある遥拝所の階段は危ないので、せめて手すりでもつけるべきではないか。
→(昨年度も意見あり)検討の結果、地下遺構があり、また見た目の問題から手すりの設置は難しい。
- *世界遺産センターの検討状況を説明してほしい。
- *宗像大社から見ても、海の道むなかた館の看板表示がわかりにくく、もっと大きく目立つようにすべきではないか。
→景観の観点から難しい。
- *文化財の指定について、1年に1つは指定するくらいのつもりでやってほしい。そうすることで、視野が広がり文化財行政が充実していく。